

2008 年度

科目名 ゼミナールⅠ	対象学科・学年 教育教職3回生	担当者 阪口むつみ
授業テーマ 音楽表現法の研究		
授業の概要と目標 新しい音楽のジャンルである“DTMの研究”と“(クラシック音楽の)ピアノ演奏法の研究”という方向に進めてゆきます。DTMでは音楽の知識、シンセサイザーの知識が必要ですから、シーケンスソフトの扱いと同時に知識を身に付けていただきます。ピアノ演奏では単に「弾く」だけでなく、J.S.バッハからE.サティまで、時代とともに音楽や奏法がどのように変化してきたかを把握しながら作品を習得します。音楽大学と違いますから、音楽史、音楽美学、和声学などの知識に欠けている場合が多く、大曲に挑戦しても指を動かして音を繋げているだけという場合が殆どです。背伸びしないで、同時に娯楽的な演奏でなく、[芸術的な演奏]を目指していただきます。DTMもピアノも結果は表現です。豊かな表現をするために日々感性を磨いてください。年度末に4回生との合同発表会を予定しています。		
評価方法 音楽への熱意、音楽的内容により評価します。		
テキスト 授業で提示	著者	出版社
参考書 授業の中で提示	著者	出版社
授業スケジュール・内容 1. イントロダクション 2. 教育実習のための音楽 ① 3. 教育実習のための音楽 ② 4. 和声分析と伴奏付け等 ① 5. 和声分析と伴奏付け等 ② 6. 表現方法の研究 7. 表現方法の研究 8. 表現方法の研究 10. 表現方法の研究 11. 表現方法の研究 12. 表現方法の研究 13. 表現方法の研究 14. 表現方法の研究 15. 表現方法の研究 16. 表現方法の研究 17. 表現方法の研究 18. 表現方法の研究 19. 表現方法の研究 20. 表現方法の研究 21. 表現方法の研究 22. 表現方法の研究 23. 表現方法の研究 24. 表現方法の研究 25. 表現方法の研究 26. 表現方法の研究 27. 表現方法の研究 28. 表現方法の研究 29. 表現方法の研究 30. 4回生との合同発表会、反省会		